

公立阿伎留医療センターにおける EB ウイルス感染細胞同定解析について

慢性活動性 EB ウイルス病(CAEBV)やその類縁疾患である EB ウイルス関連血球貪食性リンパ組織球症(EBV-HLH)、重症蚊刺アレルギー(SMBA)、種痘様水疱症リンパ増殖異常症(HV-LPD)、移植後リンパ増殖症(PTLD)などでは EB ウイルス(EBV)が B 細胞、T 細胞、NK 細胞のいずれに感染しているかを知る感染細胞同定解析が重要になります。その後の治療方針に係る検査と言えます。『慢性活動性 EB ウイルス病及びその類縁疾患診療ガイドライン 2023』では感染細胞同定解析が診断において重要であることを書かれています。公立阿伎留医療センターにおける EBV 感染細胞同定解析はビーズを用いた直列法（阿伎留法）を用いて実施されています。ビーズ直列法は国立成育医療研究センター 前・高度感染症診断部統括部長 今留博士が考案した方法です。この方法を用いて長年博士の元で感染細胞同定解析に従事していた熟練技官と解析を熟知した医師によって実施されています。

採血量が他の解析法よりも少なくすみ、幼児から高齢者まで実施でき、感染細胞の増殖レベルを正確なウイルス量で把握でき、一番短時間で結果が得られ、一番安価に提供できることからビーズ直列法（阿伎留法）を採用しています。

【解析依頼に伴う検体輸送法と検査費用ならびにお願い】

1. 検査ご希望の方は事前に caebv@akiru.hospital にまでご連絡ください。

検査日など調整し最速での検査を目指します。

検査可能ウイルス量は 3.8 LogIU/ml(7,000 IU/ml)(全血)以上ないし 5×10^3 copies/ml(全血)以上が大まかな目安となりますが、病態に応じて上記以下のウイルス量でも対応いた

しますのでご相談下さい。

2. 費用は 30,000 円(税込)になります。
3. 感染細胞同定解析にあたっての末梢血・骨髓液・組織（リンパ節など）の提出については
 - ① 宅配便(陸路や遠方の場合は空輸)での輸送、検査日午前中の阿伎留医療センター到着
 - ② 公立阿伎留医療センター CAEBV 専門外来来院（事前予約）採血

のいずれかで対応ください。

検体と一緒に検査申込書を同封してお送りください。

※解析の精査に必要になりますので B 細胞, CD4⁺T 細胞, CD8⁺T 細胞, NK 細胞, $\gamma\delta$ T 細胞の%(検体採取日か直近のもの)を必ずご記入ください。

4. 採血および輸送について

採血管：EDTA-2Na ないし ヘパリン、 採血量：15 – 20ml(全血)

採血管には ID、性別、年齢、採血日 をご記入ください。

輸送方法：検査日**午前中必着**、常温輸送

近隣は陸路宅配便、**陸路で翌日午前着が難しい場合は航空便**（日通航空便など）翌日午前着になる方法でお願いします。各配送業者との事前打ち合わせが必要な場合がありますので
よろしくお願い致します。

宛先：公立阿伎留医療センター 臨床検査室(奥)川野宛

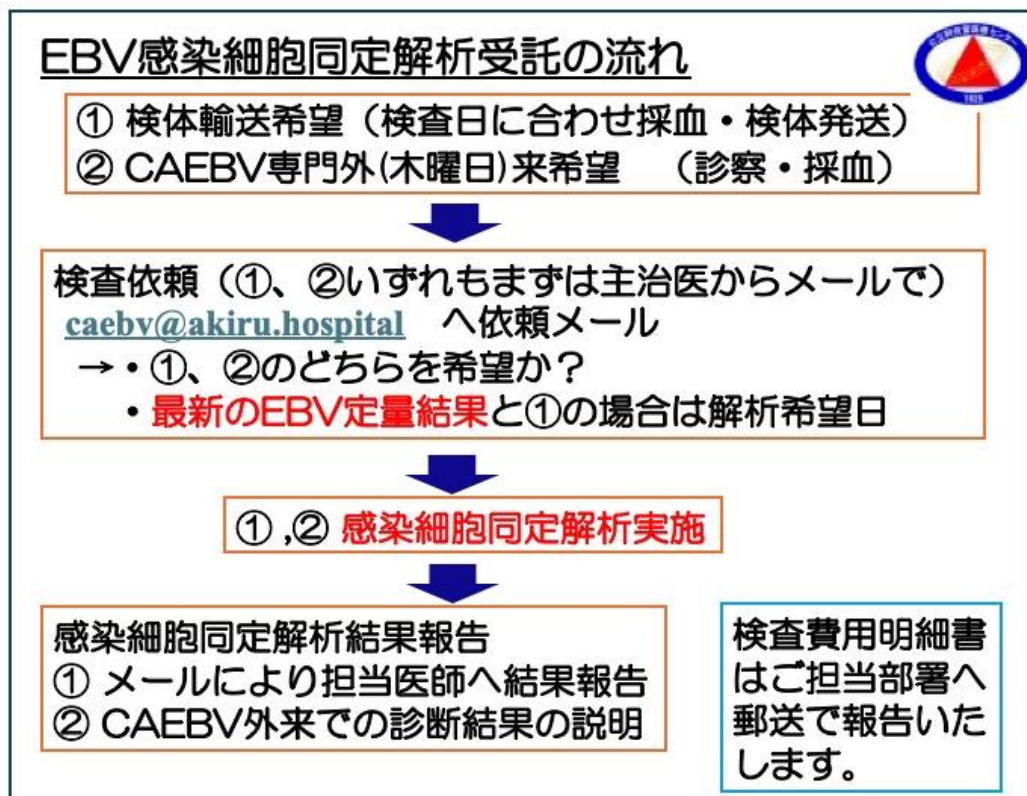
197-0834

東京都あきる野市引田 78 番地 1

042-558-0321(代表) 内線 7896

5. 検体到着時から 24 時間以内の結果報告を目指します。(再検査が必要な場合は 24 時間以

上かかる場合がありますのでご確認ください。その場合 48 時間以内の報告になります。)



【問い合わせ先】

公立阿伎留医療センター 検査部

caebv@akiru.hospital

メールでお願い致します。

<https://www.akiru-med.jp/>